



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月25日

上場会社名 アートスパークホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL <http://www.artspark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 一生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 星 和彦 (TEL) 03-3710-2985
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,437	△22.7	△218	—	△229	—	△226	—
25年12月期第2四半期	1,858	—	17	—	28	—	17	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △227百万円(—%) 25年12月期第2四半期 3百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△34.14	—
25年12月期第2四半期	2.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,549	2,077	57.4
25年12月期	3,650	2,286	61.9

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 2,037百万円 25年12月期 2,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,775	2.4	63	—	36	—	26	△39.3	3.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期 2 Q	6,647,375株	25年12月期	6,636,770株
② 期末自己株式数	26年12月期 2 Q	1,570株	25年12月期	1,270株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期 2 Q	6,644,841株	25年12月期 2 Q	6,635,140株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

携帯端末市場の中心がスマートフォンへと急速に移行していく中で、当社グループは積極的に事業構造改革を進めており、コスト削減と利益率の向上を目指す一方で、戦略投資事業における投資の成果であるソリューション事業の強化及びUI/UX（ユーアイ/ユーエックス）事業の市場拡大を進めております。

当第2四半期連結累計期間においては、各事業セグメントにおいて、継続的に販売活動の強化を推進するとともに、前連結会計年度に実施した事業構造改革の成果による人件費や減価償却費の軽減が売上原価及び販売管理費の圧縮に貢献しており、クリエイターサポート事業が黒字化に至っております。また、UI/UX事業における関西地域の事業拠点とする目的で株式会社エイチアイ関西を孫会社化し、車載機向けを中心とした事業展開の推進を強化するとともに、戦略的業務提携を締結していた株式会社U'eyes Designを孫会社化し、「デザインエンジニアリング」の一層の強化を進めております。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は1,437,632千円（前年同期22.7%減）となりました。UI/UX事業においてモバイル向けのロイヤリティ収入が減少した影響で、営業損益は218,158千円の営業損失（前年同期は17,305千円の営業利益）となりました。

経常損益につきましては、為替差損3,374千円の計上や、当社の持分法適用会社であるガラット株式会社に対する投資持分について、持分法による投資損失2,773千円を計上したこと等により、229,939千円の経常損失（前年同期は28,152千円の経常利益）となりました。純損益につきましては、株式会社エイチアイ関西の取得による負ののれん発生益13,849千円の計上等により、226,855千円の四半期純損失（前年同期は17,401千円の四半期純利益）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業の中心である携帯電話市場におきましては、平成26年3月末で国内携帯電話加入契約数が1億3,955万台（前年比5.9%増）となっております。（社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より）

また、2013年度（平成25年4月～平成26年3月）の国内携帯電話端末の総出荷台数は、前年度比5.7%減の3,941万台と3年度ぶりに4,000万台を下回る結果になりましたが、総出荷台数に占めるスマートフォン出荷台数比率は75.1%（前年比4.0%増）となっております。（株式会社MM総研発表より）

このような経営環境の中、平成26年4月に電子書籍ビューア「BS Reader for Browser」がソフトバンクモバイル株式会社の提供するスマートフォン向け総合電子書籍サービス「スマートブックストア」に採用される等、「BS Reader for Browser」が利用されている電子書籍配信サービス数は、平成26年6月末では800サービス超となっております。

以上の結果、総合電子書籍ビューア「BS Reader」を軸として推進するコンテンツソリューション事業の売上高は586,546千円（前年同期比8.3%減）、営業利益は32,111千円（前年同期比33.7%減）となりました。

<クリエイターサポート事業>

当第2四半期連結累計期間では、当社子会社セルシスの販売代理店Smith Micro Software, Inc. から、イラスト・マンガ制作ソフト「CLIP STUDIO PAINT」の英語版/ダウンロード版が発売されました。北米、ヨーロッパにおいて同製品のマーケティングを強化してまいります。

なお、クリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成26年6月末時点の登録者数は41万人となっております。

以上の結果、売上高は352,726千円（前年同期比21.6%増）、営業利益は14,531千円（前年同期は61,576千円の営業損失）となりました。

<UI/UX事業>

当第2四半期連結累計期間では、「デザインエンジニアリング」をテーマに、自動車関連分野を中心に受託開発収入が堅調に推移し、顧客基盤の拡大が進んでおります。一方、利益率の高いロイヤリティ収入が、モバイル向けを中心に前年同期との比較で大きく減少しております。費用面では、開発プロセスの管理強化等の施策によって外注費の削減が進んでおり、製造費用が減少しております。今後の事業拡大に向けて、関西方面での顧客対応の強化策として、株式会社エイチアイ関西を平成26年2月に孫会社化いたしました。また、「デザインエンジニアリング」の活動を強化しその推進を加速させる目的で、株式会社U'eyes Designを平成26年4月に孫会社化いたしました。

以上の結果、売上高は453,765千円（前年同期44.2%減）、営業損益は293,880千円の営業損失（前年同期は1,032千円の営業利益）となりました。

<アプリケーション事業>

前連結事業年度より事業の縮小を進めております。継続中の一部サービスにおける運用業務の手数料等を収益計上しております。

以上の結果、売上高は82,779千円（前年同期比30.7%減）、営業利益は28,621千円（前年同期は2,058千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、3,549,323千円となりました。うち、流動資産は1,762,669千円であり、主な内容は現金及び預金1,108,760千円であります。また、固定資産は1,779,957千円であり、主な内容はソフトウェア930,714千円、敷金及び保証金202,028千円、投資有価証券198,540千円であります。

当第2四半期連結累計期間末における総負債は、1,471,703千円となりました。うち、流動負債は1,023,473千円であり、固定負債は448,230千円であります。

当第2四半期連結累計期間末における純資産は、2,077,620千円となりました。なお、自己資本比率は、57.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、244,832千円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純損失216,649千円の計上や負のれん発生益13,849千円の計上等があったものの、減価償却費の計上271,862千円、売上債権の減少額274,488千円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、256,777千円となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入100,062千円等があったものの、ソフトウェア等の無形固定資産397,832千円の取得、有形固定資産11,395千円の取得等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、104,188千円となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出109,704千円等があったことによるものであります。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、971,745千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、平成26年1月31日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

特定子会社の異動はありませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社エイチアイ(当社の連結子会社)が、株式会社エイチアイ関西の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。これに伴い、当第2四半期連結会計期間より損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書を連結しております。

また、平成26年4月15日付で株式会社エイチアイが、株式会社U'eyes Designの株式を取得し、子会社化しております。これに伴い、当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,533	1,108,760
売掛金	552,076	362,052
製品	30,453	20,881
仕掛品	18,926	60,591
原材料及び貯蔵品	99,376	89,571
その他	119,140	127,473
貸倒引当金	△12,608	△6,662
流動資産合計	2,130,897	1,762,669
固定資産		
有形固定資産		
建物	113,436	120,735
減価償却累計額	△77,681	△82,961
建物(純額)	35,755	37,774
工具、器具及び備品	209,417	244,219
減価償却累計額	△189,439	△216,251
工具、器具及び備品(純額)	19,977	27,968
有形固定資産合計	55,733	65,742
無形固定資産		
ソフトウェア	855,846	930,714
ソフトウェア仮勘定	88,189	137,918
のれん	27,964	150,247
その他	31,039	32,505
無形固定資産合計	1,003,040	1,251,386
投資その他の資産		
投資有価証券	203,623	198,540
敷金及び保証金	193,517	202,028
その他	55,978	62,549
貸倒引当金	—	△290
投資その他の資産合計	453,119	462,828
固定資産合計	1,511,893	1,779,957
繰延資産	7,914	6,696
資産合計	3,650,704	3,549,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,904	136,754
短期借入金	390,000	422,364
1年内返済予定の長期借入金	206,879	175,625
未払法人税等	19,776	13,119
返品調整引当金	8,292	11,070
賞与引当金	—	8,857
その他	227,154	255,681
流動負債合計	1,021,006	1,023,473
固定負債		
長期借入金	267,512	370,508
退職給付引当金	72,078	74,284
繰延税金負債	3,895	3,438
固定負債合計	343,485	448,230
負債合計	1,364,491	1,471,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,320	1,003,158
資本剰余金	479,447	482,285
利益剰余金	773,184	546,329
自己株式	△609	△769
株主資本合計	2,252,343	2,031,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,382	6,457
その他の包括利益累計額合計	7,382	6,457
新株予約権	26,486	30,236
少数株主持分	—	9,922
純資産合計	2,286,213	2,077,620
負債純資産合計	3,650,704	3,549,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,858,689	1,437,632
売上原価	1,215,472	1,105,852
売上総利益	643,217	331,779
返品調整引当金戻入額	3,775	8,292
返品調整引当金繰入額	3,055	11,070
差引売上総利益	643,937	329,001
販売費及び一般管理費	626,632	547,159
営業利益又は営業損失(△)	17,305	△218,158
営業外収益		
受取利息	241	442
受取配当金	6,900	2
為替差益	2,549	-
関係会社清算損失引当金戻入益	6,395	-
事業構造改革引当金戻入益	14,934	-
その他	2,160	1,953
営業外収益合計	33,182	2,397
営業外費用		
支払利息	4,639	4,237
為替差損	-	3,374
持分法による投資損失	13,277	2,773
その他	4,418	3,792
営業外費用合計	22,334	14,178
経常利益又は経常損失(△)	28,152	△229,939
特別利益		
負ののれん発生益	-	13,849
新株予約権戻入益	4,431	421
持分変動利益	7,438	-
その他	-	46
特別利益合計	11,870	14,317
特別損失		
支払和解金	7,600	-
投資有価証券評価損	11,004	1,027
特別損失合計	18,604	1,027
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	21,418	△216,649
法人税等	4,017	10,361
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	17,401	△227,011
少数株主損失(△)	-	△155
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,401	△226,855

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	17,401	△227,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,025	△925
その他の包括利益合計	△14,025	△925
四半期包括利益	3,375	△227,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,375	△227,781
少数株主に係る四半期包括利益	-	△155

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	21,418	△216,649
減価償却費	254,850	271,862
株式報酬費用	708	4,171
新株予約権戻入益	△4,431	△421
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,122	△6,209
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△719	2,778
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,377	2,206
関係会社清算損失引当金の増減額(△は減少)	△6,395	-
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	△81,133	-
受取利息及び受取配当金	△7,141	△444
支払利息	4,639	4,237
為替差損益(△は益)	△1,678	412
持分法による投資損益(△は益)	13,277	2,773
持分変動損益(△は益)	△7,438	-
負ののれん発生益	-	△13,849
投資有価証券評価損益(△は益)	11,004	1,027
売上債権の増減額(△は増加)	139,464	274,488
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85,935	△11,055
仕入債務の増減額(△は減少)	12,524	△63,232
その他	22,061	3,613
小計	271,573	255,710
利息及び配当金の受取額	241	1,798
利息の支払額	△4,624	△4,714
法人税等の支払額	△4,546	△7,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	262,643	244,832
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,861	△1,836
定期預金の払戻による収入	57,137	100,062
有形固定資産の取得による支出	△8,492	△11,395
有形固定資産の売却による収入	-	237
無形固定資産の取得による支出	△253,967	△397,832
無形固定資産の売却による収入	-	280
関係会社貸付けによる支出	△20,000	-
関係会社貸付金の回収による収入	20,000	21,109
投資有価証券の取得による支出	△9,950	-
投資有価証券の売却による収入	2,070	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	33,846
差入保証金の差入による支出	△6,210	△1,250
敷金の回収による収入	400	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,873	△256,777

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	200,000
短期借入金の返済による支出	-	△200,000
長期借入金の返済による支出	△124,286	△109,704
株式の発行による収入	-	5,675
自己株式の取得による支出	△98	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,384	△104,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,678	△412
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,064	△116,545
現金及び現金同等物の期首残高	939,597	1,088,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	958,661	971,745

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

平成25年3月開催の定時株主総会決議により、利益剰余金の欠損填補を行い、資本剰余金のうち1,388,473千円を減少し、資本剰余金は479,126千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	アプリケーション 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	636,771	290,143	812,399	118,474	1,857,789	900	1,858,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,830	—	340	980	4,152	△4,152	—
計	639,602	290,143	812,740	119,455	1,861,942	△3,252	1,858,689
セグメント利益又はセグメント 損失 (△)	48,456	△61,576	1,032	△2,058	△14,146	31,452	17,305

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	アプリケーション 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	551,546	352,502	453,765	82,779	1,440,593	△2,961	1,437,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,000	224	—	—	35,224	△35,224	—
計	586,546	352,726	453,765	82,779	1,475,817	△38,185	1,437,632
セグメント利益又はセグメント 損失 (△)	32,111	14,531	△293,880	28,621	△218,616	457	△218,158

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社株式会社エイチアイが、株式会社エイチアイ関西の株式を取得し子会社化したことに伴い、UI/UX事業において負ののれん発生益13,849千円を特別利益に計上しております。

また、平成26年4月15日付で株式会社エイチアイは、株式会社U'eyes Designの株式を取得し、子会社化したことにより、UI/UX事業においてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において125,778千円であります。